



園田地区 お散歩マップ(神社仏閣)

※後ろのページ、P.29～34の番号と対応しています。

神社仏閣

園田北（猪名寺・南清水）

① 専正寺（せんしょうじ）



専正寺の梵鐘

（南清水25-1）
《JR「猪名寺」》
浄土真宗本願寺派の寺院です。開基は、奈良時代の僧行基の弟子正円坊と伝えられています。阿野大納言公緒、その子中納言実惟、孫侍従公繩三代の寄進銘のある寛保元年（1741）の「法霖作梵鐘」があります。

園田南（口田中・瓦宮）



② 《皇産霊神社》
瓦宮1丁目
秋大祭

3 食満の神社 秋祭り
10月

食満



③【上食満稻荷神社】
食満3丁目

④【中食満稻荷神社】
食満5丁目

⑤【下食満稻荷神社】
食満7丁目

⑥ 西明寺（さいみょうじ）



法然上人立像

（食満6-11-28）
《阪神バス「園田公民館」、阪急バス「下食満」》
文治年間（1185～90）に創建され、法然の開基と伝えられる浄土宗の寺院です。先年火災に遭いましたが、奇跡的に法然上人立像は焼失をまぬがれました。法然上人遺跡として地域の信仰を集め、「摂津名所図会」にも紹介されています。

※各名称の前にふりつけている番号は園田地区お散歩マップ(神社仏閣)とリンクしています。
※10m×10m=100㎡

ウエルカム
マタニティ
こんにちは赤ちゃん

子どもの健康
園田地区の
お医者さん

子どもを預ける
園田地区の保育所
幼稚園・学校

仲間をつくらう！

園田地区のお散歩マップ

地域のミニ情報

田能



⑦《田能春日神社》田能5丁目
 明治39年当村の素盞鳴神社(旧村社)を合祀建立
 昭和35年、同村の奥津彦神社も合祀し現在に至る
 末社に恵比寿社、愛宕社がある。

歳旦祭: 1月1日
 春祭: 3月
 夏祭: 8月「湯立て神楽」
 秋祭: 10月「だんじり巡行」
 冬祭: 12月

御園



⑧《御園素盞鳴神社》
 御園2丁目
 秋祭り: 10月



盆踊り



お餅つき

園和 (東園田町・椎堂)

⑨ 福田寺 (ふくでんじ)



福田寺

(東園田4-33)
 《阪急「園田」》
 大正4年(1915)、奈良県
 生駒のくらがり峠から現在
 地に移転してきた真言宗
 聖天派の寺院です。
 本尊は大聖歓喜天で、イ
 ンドの古代神話の神です。



⑩《白井神社》
 東園田町4丁目



⑪《船詰神社》
 東園田町1丁目

⑫ 十九神社 (とうくじんじゃ)

(椎堂1丁目)
 尼崎市が指定する保護樹木のうち、園田地区内
 で幹周が一番大きい樹木(クスノキ; 4.22m)があり
 ます。歴史ある境内の狛犬とともに、この神木が
 パワースポットとしても注目を集めています。

※各名称の前にふりつけている番号は園田地区お散歩マップ(神社仏閣)とリンクしています。
 ※10m×10m=100㎡

ウエルカム
 マタニテイ
 こんにちは赤ちゃん

子どもの健康
 園田地区の
 お医者さん

子どもを預ける
 園田地区の保育所
 幼稚園・学校

仲間をつくらう!

園田地区のお散歩マップ

地域のミニ情報

13 伊佐具神社(いさぐじんじゃ)

上坂部



伊佐具神社

(上坂部3-25-18)
 《阪神バス「近松公園」、JR「塚口」》
 「延喜式」(10世紀初めに編さんされた法令集)のなかの神名帳に記された尼崎で唯一の式内社です。社頭には江戸時代に並河誠所が建立した「伊佐具社」の4文字を刻む社号標石(市指定文化財)があります。



秋祭り
 毎年10月の第3土・日曜日に開催

みこし



だんじり



秋祭り：10月

㊦《熊野大神社》
 若王寺1丁目

若王寺



㊦《小中島素盞鳴神社》
 小中島1丁目
 10月第3土・日曜日に秋季大祭が実施されます。



小中島

ウエルカム
 マタニテイ
 こんにちは赤ちゃん

子どもの健康
 園田地区の
 お医者さん

子どもを預ける
 園田地区の保育所
 幼稚園・学校

仲間をつくらう！

園田地区のお散歩マップ

地域のミニ情報

※各名称の前にふりつけている番号は園田地区お散歩マップ(神社仏閣)とリンクしています。
 ※10m×10m=100㎡

⑯《森愛宕神社》
南塚口町3丁目
上坂部伊佐具神社の分神
境内は9坪程で、常時は神主さん
は不在ですが、お祭りの際には、
上坂部伊佐具神社の神主さんが
来られて祭事が行われます。



南塚口



⑰《戸ノ内素盞鳴神社》
戸ノ内町2丁目
例大祭: 10月14日
おみこし(布団太鼓)
体育の日の前日曜日
※変更になる場合があります。

園田東・戸ノ内

⑱ 治田寺(じでんじ)



治田寺

(戸ノ内町2-4-11)
《阪神バス「戸ノ内町2丁目」》
真言宗の寺院です。寺伝によれば聖武天皇の勅許を得た行基が当地の霊木を自ら刻み本尊の薬師如来を造仏したことから、治田寺と号したと伝えられています。阿弥陀如来坐像(県指定文化財)は桧材の寄せ木造り、像高138cmの平安時代末期の仏像です。十一面観音菩薩立像(市指定文化財)は、高さ100cmの一木造です。温雅な面相から平安時代後期の作と推定されています。

その他(古墳・遺跡など) 園田北(猪名寺・南清水)

⑲ 南清水古墳



南清水古墳と素盞鳴神

(南清水16)
《JR「猪名寺」》
古墳時代中期の前方後円墳と考えられます。後円部に比べ前方部が短く、墳形が帆立貝のような形をしていることから帆立貝式古墳とも呼ばれる形式の古墳です。

⑳ 大塚山古墳(天狗塚)・中ノ田遺跡



大塚山公園内に復元された古墳

(南清水8 大塚山公園内)
《JR「猪名寺」》
大塚山古墳は全長45m、後円部径24mで、周囲に濠を巡らした古墳時代後期の前方後円墳です。昭和初期の土取りで破壊されましたが、五鈴鏡・鉄刀・鉄鏃・馬具・工具・玉類・土器などが出土しました。現在は約1/2に縮小して公園内に復元しています。中ノ田遺跡は弥生時代後期と奈良時代の集落跡です。

※各名称の前にふりつけている番号は園田地区お散歩マップ(神社仏閣)とリンクしています。
※10m×10m=100㎡

21 猪名寺廃寺跡



法園寺境内にある塔心礎

(猪名寺1-31 法園寺)
《阪神バス「猪名寺」》
白鳳時代に建立された寺院跡です。金堂と塔が東西に並び、講堂をその北側に配置する法隆寺式伽藍配置の寺院でした。大正年間に塔跡から運び出された巨大な塔心礎が庫裏の東側に置かれています。

田能

22 田能遺跡(国指定史跡)



田能遺跡

(田能6-5-1)
《阪神バス「田能口」、阪急バス「クリーンランド前」》
弥生時代の全期間にわたる集落跡です。竪穴住居のほか木棺墓、土坑墓、壺・甕棺墓などの墓が発見され、碧玉製管玉の首飾りや白銅製の腕輪を身につけ、特別な扱いを受けていたと思われる人物の墓がありました。発掘された遺構は地下に保存しています。住居や高床式倉庫などを復元し、出土資料は資料館で公開しています。
《開館：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館：月曜(月曜が祝休日の場合は開館し、その直後の平日を休館)・年末年始 入館無料》

23 田能の力石

(観音堂：田能3-16)
田能の観世音本堂の境内にこの地域に、古くから伝わる力石(力だめし)がある。石は大小2つあって、大きい石は180キロ、小さい石は120キロある。大きい石は銘があり、たぶんこれを担いだ記念に刻印したものと思われる。

御園

24 御園古墳



御園古墳石棺

(塚口本町8-1御園墓地内)
《JR「塚口」、阪神バス「御園団地」》
東西に主軸をおく全長約60m、高さ約3mの古墳時代中期の前方後円墳です。墳丘が御園地区の墓地になっています。昭和初期の墓地整理の時に発見された石棺は、保存処理を施して、現在墳丘上覆屋内に置かれています。

25 岡院石棺(ごいんのせっかん)



岡院の石棺

(御園2-4)
《阪神バス「御園団地」》
長らく岡院の用水路に架けられ、「スズリ橋」と呼ばれていました。古墳時代中期の凝灰岩製の長持型か家型石棺の蓋石です。

※各名称の前にふりつけている番号は園田地区お散歩マップ(神社仏閣)とリンクしています。

※10m×10m=100㎡

園和（東園田町・椎堂）

26 東園田遺跡とその周辺

（東園田町1-116 西浦公園）
《阪急バス「利倉西」》
東園田町1～2丁目の旧猪名川西岸には、これまで東園田遺跡・西浦遺跡・東裏遺跡など弥生時代～鎌倉時代の遺跡が見つかっています。東園田遺跡は弥生時代後期から古墳時代の集落跡で、これまでの調査で竪穴住居、溝、井戸、土坑などの遺構と土器・石製品・木製品・金属製品などの遺物が出土しています。

27 武田勝親の墓



武田勝親の名を刻む墓石

（東園田1-105-2）
《阪急バス「利倉西」》
勝親の父は、武田信玄の子勝頼といわれています。天正10年（1582）の天目山の戦いで父勝頼が敗死したため勝親は甲斐国から逃げ、富田（現在地）の地に移り住んだと伝えられています。

10 瓦宮藻川堤防上の道標

現在は、東園田町4丁目白井神社境内

28 若王寺遺跡



発掘された古墳時代のフイゴの羽口

（若王寺3-11）
《阪神バス「近松公園」、阪神バス「百合学院」》
弥生時代後期から古墳時代後期まで継続する遺跡です。掘立柱建物・土坑などの遺構や、土器、石製品、鞆の羽口、鉄滓など製鉄に関する遺物も出土しました。

若王寺

29 豆島



豆島

（東園田町8丁目地先）
豆島は昭和60年頃は、まだ藻川と猪名川の合流地点である「あおぞら広場」と陸続きでした。その後、河川の護岸工事に伴い、「あおぞら広場」と切り離された島となり、その後侵食が進んで現在の豆島（標高1m、面積1,000㎡）になったそうです。尼崎に存する唯一の無人島？として様々なイベントが行われています。

園田東・戸ノ内

30 有馬道



有馬道と間道との分岐にあった道標

（神崎町12）
《阪神バス「神崎」》
大阪方面と有馬温泉を結ぶ道筋は、かつて「有馬街道」と呼び親しまれていました。神崎から北上し、藻川沿いに猪名寺・伊丹に走る本道と、次屋・下坂部・久々知・上坂部・塚口を通過して昆陽（伊丹市）に至り、現宝塚市内で本道と合流する間道の2コースにあったことが知られています。この道標は明治11年（1878）に本道と間道の分岐点に建てられましたが、その後現在地に移転されました。

その他

※各名称の前にふりつけている番号は園田地区お散歩マップ(神社仏閣)とリンクしています。
※10m×10m=100㎡